

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化【1】計画・設計の見直し 施策10 】

協議により横断水路数の変更

事業名： 鉄道事業

概要：

(従来)

車両基地の横断水路ボックス数 14箇所

⇒

(新)

車両基地の横断水路ボックス数 8箇所

効果

- ①地元協議により、横断する水路ボックスを14箇所から8箇所に集約し水路数を減らす。
- ②水路数を減らすことにより、盛土等の施工性の向上、工期短縮及び工事費が低減される。
- ③工事コストを12.1億円から10.3億円に改善
(改善額 1.8億円 改善率 約15%)

